

《いっばいっば通信》



第3回市議会定例会では「校務情報化を進め、先生と子どもたちのふれあいの時間を作る」ことをテーマに、武蔵野市の教育現場における情報化の現状を問いました。邑上市長、および山上教育長からは「早急に検討し、対応を進める」との回答を得ることができました。

その結果、子どもたちに向けたエネルギーが増え、先生と子どもたちのふれあいの時間もたらされるのです。

学校の先生の仕事には、教室での授業と、職員室での作業があります。このうち、教室での授業は時間が決まっているものですが、一方で職員室での作業は、いまやエンドレスになってしまっているようです。

◎議会報告

このような現状への問題意識から、武蔵野市の教育現場の情報化について、一般質問で取り上げました。

先生がたは、情報の安全管理に苦慮しながら、しばしば家に仕事を持ち帰らざるを得ない状況もある、と耳にします。

【Q】業への意欲は？

【A】小学校5台、中学校2台の低水準。

【 深田貴美子の活動報告 】

- 10月 25日 むさしの外環地区協議会
26日 自閉症協会
27日 一中フェスタ・周年式典、三中くぬぎ祭、シルバー人材センター文化祭
28日 東部福祉の会フェスティバル
29日 港北区「びーのびーの」視察
30日 佐藤竺先生学習会
31日 養育家庭懇談会
11月 1日 『Mu-shop』認定式
2日 南砺市交流会
3日 市制60周年式典
4日 北町高齢者センター式典
5日 会派予算要望
6日 東部まちづくり協議会
9日 外環道路上空視察
10日 0123まつり
11日 むさしの青空市、外環地区協議会全体集会
13日 文教委員会傍聴
14日 厚生委員会
15日 市議会障害者・高齢者体験
16日 建設委員会
17日 本宿小学芸会、三小展覧会、本宿コムセン祭り
19日 外環特別委員会
21日 子育て支援事業導入候補事業パペットミュージカル視察
23日 NPO法人『すぎこー』障害者生活支援セミナー
24日 国際交流協会祭り
27日 九浦タウンミーティング
12月 2日 市制60周年記念・武蔵野市NPO・市民活動フォーラム
5日 本会議
6日 一般質問登壇
7日 横河FC納会
8日 ごちそうフェスタ
11日 総務委員会
12日 文教委員会、策定委員会傍聴
13日 厚生委員会
14日 建設委員会
17日 外環道路特別委員会
18日 地域リハビリテーション有識者会議傍聴
19日 委員会審査報告
21日 中途失聴者の会
25日 外環道路国幹会議、世田谷区民間放課後サービス視察
29日 樋口恵子先生懇談
31日 消防団年末特別警戒@安養寺
12月 21日 消防団定例会
22日 JC賀詞交換会
23日 男女共同参画市民会議傍聴
24日 小・中一貫教育校『三鷹市立連雀学園』視察
25日 第四期長期計画調整計画市民ヒアリング
26日 本宿小授業公開、むさしの外環協議会
27日 九浦の家餅つき
29日 策定委員会傍聴
30日 九浦の家新年会
12月 1日 中学校連合音楽会
2日 障害者福祉センター新年会
4日 社協評議委員会
5日 開発公社視察@磐田市
6日 開発公社視察@静岡市
7日 文教委員会、市川市視察
8日 厚生委員会、雨情の会
9日 南砺市そば祭り(~10日)
11日 浦安市イクスピアリ『Camp Nepos』視察
12月 5日 傾聴ボランティア
6日 東コムセン臨時運営委員会
7日 武蔵野市賀詞交換会
8日 四小どんと焼き
9日 武蔵野消防団出初式
11日 クリーンむさしの新年会
13日 三小どんと焼き
14日 恵比寿エジソンクラブ
15日 婦団協新年会
16日 三中授業公開
17日 全員協議会
18日 浦安市視察
19日 南町コムセン円卓会議
12月 5日 傾聴ボランティア
6日 東コムセン臨時運営委員会
7日 武蔵野市賀詞交換会
8日 四小どんと焼き
9日 武蔵野消防団出初式
11日 クリーンむさしの新年会
13日 三小どんと焼き
14日 恵比寿エジソンクラブ
15日 婦団協新年会
16日 三中授業公開
17日 全員協議会
18日 浦安市視察
19日 南町コムセン円卓会議

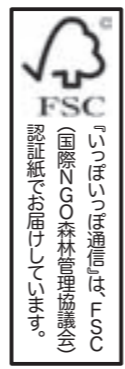
*以上、最近の足跡から抜粋にてご報告いたしました。お招きいただき、参加させていただきながら、紙面の都合でここにご報告することができなかったミーティングやイベントを主催された皆さま、どうぞ御礼にまわしておきます。



の地域子育て支援拠点『ごころっぶ』を視察しました。運営するNPO法人『びーのびーの』はかつて『O-25吉祥寺』を見て「同じものが横浜にも欲しい！」と活動をはじめたママたち。日々の子育ての悩みや、お互いの子どもの面倒を見合うことで、地域の信頼の輪が広がりました。

【事務局から「寄付」と「購読カンパ」のお願いです】
私ども『深田貴美子といっばいっばの会』では、皆さまの声を聞かせいただく窓として、吉祥寺図書館の近くに地域活動の拠点を構えています。またこの『いっばいっば通信』も、フレッシュな市政活動のご報告として、市議会ごとの年4回を基本にお届けしていきたいと思っています。

【議会報告会を開催します】
3月27日閉会の第1回定例会、および平成20年度予算特別委員会の結果をいち早くお伝えし、今後の課題を皆さんと検討したいと思います。どうぞお気軽にご参加ください。
4月11日(金) 19時、本町ミッドラン
4月14日(月) 10時、南町ミッドラン
4月19日(土) 19時、九浦の家



業」として盛り込みました。

こうしたプログラムなどへの参加で教育現場のＩＴ環境を拡充できれば、小中学校でも「高度なネットワーク社会でなにができるか」といった、高いＩＴリテラシーの下での学習に結びつけることが可能になります。

2007年4月の市議会改選では、私を含めて5名の新人議員が誕生しましたが、外環道路問題について認識を深めるため外環道路特別委員会に、国交省へリコピューターによる「上空視察」を提案し、実現しました。



なんと80%が水分で構成されています。武蔵野市の平均寿命が都内で1位と高いのは、こうした環境が整っているからではないでしょうか。

[A] 意欲を持って手をあげていきたい。

教育情報化のための専門家等の派遣については、すでに本市でも指導課に1名が導入されている。御指摘の教育情報化総合支援モデル事業は文科省の概算要求で、内容はまだ都に下りていないが、教員のICT指導力向上の取り組みを支援する事業であるので、具体的な中身がわかりたいと検討したい。

◎『外環』を飛んで

11月9日、外環道路の建設予定地を、ヘリコピューターで上空から視察しました。

しかし、この長期計画の策定時には予測できなかった社会状況や経済情勢の変化に対応するためには、計画の見直しが必要になります。それが4年ごとに策定される「調整計画」です。

現在、武蔵野市では平成17年度から26年度までの「第四期基本構想・長期計画」の期間です。この間、介護保険法改正や障害者自立支援法施行、この春から導入される後期高齢者医療制度など国の制度改正が行われたこと、また2004年の新潟県中越地震、2007年の新潟県中越沖地震などから都市防災対策の必要性が高まったことで、見直しの重要性が増しています。

安全であること、そして安心して暮らせることは、すべての人の願いです。

武蔵野市では調整計画の策定に向け、ひとりひとりの市民の声を反映するため、2006年9月に公募による市民会議を設置し、2007年4月に学識経験者4名、副市長、市民会議か

ら視察しました。

2007年6月末、松戸市で約99%、市川市で約88%の用地買収が完了しました。上空から見ると「空き地の一本道」がたどれるほどになっています。



千葉県では1971年、市川、松戸の両市議会と県議会での請願採択で、計画が凍結されました。しかし1996年に都市計画変更が決定して急速に用地交渉が進み、1999年から工事が急ピッチで続いています。

千葉県では1971年、市川、松戸の両市議会と県議会での請願採択で、計画が凍結されました。しかし1996年に都市計画変更が決定して急速に用地交渉が進み、1999年から工事が急ピッチで続いています。

私たちの生活をよりよくしていくため、自治体は「最後のよりどころとしての責務」を問われています。近隣の自治体では、すでに数年前から、市民生活のどこに負担があり、なにが不安なのかという「課題」を吸い上げ、そして地域で支え合っていく仕組みづくりが、早急に取り組まれています。

武蔵野市はいま、一日でも早く「市民の生活を支えていく仕組みづくり」に取り組まなければならないところに来ています。

私たち市議会議員には、市民の皆さんの声に対して「傾聴する」「耳を傾け、十四の心をもって聴く」姿勢が、いま強く求められているはずです。

この「第四期長期計画調整計画原案」は、意見公募の手続きによるパブリックコメントを反映したうえで、正式な「調整計画」となりました。4月上旬には印刷された冊子として市内の公共機関で配布され、また市のウェブ

千葉く埼玉く練馬と上空から続く景色は、緑と住宅がモザイクのようにちりばめられた武蔵野市に。この自然豊かな大地にトンネルを掘削し、さらに計画から消えていない地上部「外環の2」を、どのようにして通す

市民にはあまり知られていませんが、武蔵野市の水は大変おいしいのです。それは深井戸から汲み上げた深層水が、飲料水の基本になっているからです。人体は成人で65%、赤ちゃんでは

市民にはあまり知られていませんが、武蔵野市の水は大変おいしいのです。それは深井戸から汲み上げた深層水が、飲料水の基本になっているからです。人体は成人で65%、赤ちゃんでは

◎第1回定例会

平成20年の第1回定例会が2月26日に開会しました。この定例会では、平成20年度の「市政方針並びに基本的施策」が報告され、各党派の代表質問が行われました。

また3月13日には予算特別委員会もはじまり、平成20年度の予算が審議されました。予算特別委員会のメンバーとして、私も市民の目線で、新年度の予算が「私たちの予算」になるよう、しっかりと見極めるべく臨みました。詳しくは次号でご報告させていただきます。

◎助け合いネット

広い範囲に災害が起きた時行政の公的支援活動が機能し始めるまでの間は、最低限の支援活動は地域が取り組んでいく必要があります。そこで武蔵野市では「災害時の助け合いネットワークづくり」のモデル事業を実施しています。

なんと80%が水分で構成されています。武蔵野市の平均寿命が都内で1位と高いのは、こうした環境が整っているからではないでしょうか。

暮れも押し迫った昨年12月25日、突如として開催された「国土開発幹線自動車道建設会議」では、練馬く三鷹間を関越自動車道とし、三鷹く世田谷間を中央自動車道として基本計画が決定しました。事業化の方向へ大きく進んだ、といえるでしょう。

外環道路の建設は、大深度地下法に基づき、地上の地権者の手の及ぶところではなくなっています。だからこそ、地権者および地域住民によって、状況を確認する方法が必要です。そのために、第三者による検証が可能なデータや資料の提示が絶対条件として求められています。

◎『四長』調整計画

去る1月18日、武蔵野市第四期長期計画調整計画の原案が策定されました。

自治体にはそれぞれ、独自の将来像や基本的な理念を掲げた「基本構想」が定められています。

これは障害者や要介護高齢者のうち、どれくらいの方々が必要時に手助けを必要としているのかを把握し、いざというときの助け合いに生かそうというものです。実施地域は「吉祥寺東町1丁目く4丁目」および「吉祥寺本町1丁目17く38番」です。

さて、その状況は3月18日の予算特別委員会でも明らかにになりました。東町で手助けを必要とする人は約130人。それに対して支援者は、ほぼ同数。足りているように見えますが、車椅子ごと階段で助け出すことを考えると、2人でひとりを支援する体制が理想的です。支援者にも不在や病気があり、多くの人で支援グループを作らないと、実際には対応できません。そのためにはまだ、50%なのです。

担当する東部福祉の会では、さらなる支援者を求めていますので、地域のために、どうぞ皆さんのお力を寄せてください。

東「ミセン」(九浦の家)
004222-21-4141

◎『ぶらぶら』視察

昨年10月29日、横浜市港北区

突撃！お隣の消防団。

私の事務所のお隣に、吉祥寺東町、本町、南町周辺を管轄とする『武蔵野市消防団第二分団』があります。年末の特別警戒で団員が勢ぞろいし、お忙しくも活気あふれる分団にちよつとおじゃまし、お話をうかがってきました。

消防団は、地元の事情に詳しい方たちが、火の用心などの防災活動から、万が一の出火の際の初期消火にまで尽力する、究極のボランティア集団。災害時には自分の仕事をなげうって、消防活動ならびに応急救護などの活動にあたっています。多くは地元市民ですが、在勤の団員というケースもあるそうです。

現在、武蔵野市の消防団は団長以下25名の10分団で、定員合計260名の体制になっています。お話によれば、祖父・父・本人の三世代で消防団活動に携わっている方もいらつしやるとのことですが、総じて若い力が不足しているそうです。また、深夜に出動することもたびたびあり、家族の理解と協力が重要だといえます。

現場での苦労話を聞くところによると、訓練の習熟度に起因することがしばしばあるようでした。そのためには訓練の場所、時間の確保は必須ですが、その高いハードルに挑まんとする、志ある若い力も、もっと必要なのではないでしょうか。

大晦日には、吉祥寺安養寺の除夜特別警戒に参加してきました。500人を超える鐘撞き希望の参拝客に、元旦の夜明け前まで付き合っていること30年という分団長さん。地域を守り、安全を祈る消防団の方々に心から感謝！



右は、東町公園で行われた先日の訓練の様子。休日を返上して重ねられた準備が、街を守るのです。